

JIS

UDC 621.397.3 : 681.3.05

X 4302

連続階調静止画像のデジタル圧縮 及び符号処理—第2部 適合性試験

JIS X 4302⁻¹⁹⁹⁶

(2001 確認)

(2005 確認)

平成 8 年 4 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣　　制定：平成 8.4.1

官 報 公 示：平成 8.4.1

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

連続階調静止画像のデジタル圧縮 X 4302-1996 及び符号処理—第2部 適合性試験

Information technology—Digital compression and coding of continuous-tone still images —Part 2 : Compliance testing

日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1995年に第1版として出版されたISO/IEC 10918-2 (Information technology—Digital compression and coding of continuous-tone still images—Part 2 : Compliance testing) を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、4.以降の規定内容は、原国際規格の内容を要約したものである。なお、この規格で下線(点線)を施してある部分は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、JIS X 4301に規定された連続階調静止画像の符号化処理、復号処理及び圧縮データ様式の適合性試験について規定する。

この規格は、次の事項を規定するとともに実際に次の試験を行う際の指針及び例を示す。

- JIS X 4301の圧縮データ様式の適合性試験。
- JIS X 4301の符号化処理の適合性試験。
- JIS X 4301の復号処理の適合性試験。
- 特定用途向け適合性試験を作成する方法。

この規格は、JIS X 4301の符号化処理及び復号処理の基準となるはん(汎)用の適合性試験を規定する。これらの適合性試験は、JIS X 4301に規定されている一つ以上の符号化処理及び復号処理を、独立してはん(汎)用的に実現したものに適用できる。これらの試験の目的の中には、はん(汎)用符号器(及び復号器)の実現法が、離散余弦変換(DCT)及び量子化関数を十分な精度で計算することを保証することも含まれる。

2. 引用規格 この規格で引用する規格を、次に示す。これらの規格がこの規格の本体中で引用された場合には、この規格の規定の一部とみなす。この規格の制定時点では、次の規格が最新規格であるが、改正されることもあるので、この規格を使う当事者は、最新版を適用できるかどうかを検討するのが望ましい。

ISO 5807 : 1985 Information processing—Documentation symbols and conventions for data, program and system flowcharts, program network charts and system resources charts

備考 JIS X 0121-1986 (情報処理用流れ図・プログラム網図・システム資源図記号) が、この規格と一致している。

ISO/IEC 10918-1 : 1994 Information technology—Digital compression and coding of continuous-tone still images—Part 1 : Requirements and guidelines

備考 JIS X 4301-1995 (連続階調静止画像のデジタル圧縮及び符号処理—第1部 要件及び指針) が、この規格と一致している。